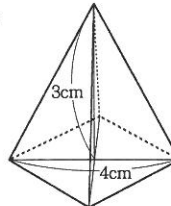


H28 (2016) 年度 岐阜公立 表

- 1 次の(1)~(3)の計算と、(4)~(6)の問いに答えなさい。(各4点×6=24点)
- (1) $7-3^2$ (2) $4a+5b-3(a+2b)$
- $-7-9=-16$ $=4a+5b-3a-6b=a-b$
- (3) $\sqrt{6}\sqrt{3}+\sqrt{6}\div\sqrt{3}$
- $=\sqrt{18}+\sqrt{2}=3\sqrt{2}+\sqrt{2}=4\sqrt{2}$
- (4) 関数 $y=-x^2$ で、 x の値が1から3まで増加するときの変化の割合を求めなさい。
- $-1(1+3)=-4$

- (5) 右の図は、底面の対角線の長さが4cm、高さが3cmの正四角すいである。この正四角すいの体積を求めなさい。



$(4 \times 2 \times \frac{1}{2} \times 2) \times 3 \times \frac{1}{3} = 8 \text{ cm}^3$

- (6) 6台の機械で50分かかる作業がある。この作業を6台の機械で同時に始めた。作業を始めてから35分後に1台の機械が故障したため、残りの作業を5台の機械で続けて行い、作業を終えた。1台の機械が故障してから何分後に作業を終えたかを求めなさい。ただし、6台の機械はすべて同じ性能で、途中で故障したのは1台のみとする。

仕事の大きさは、6台×50分=300。
故障後 x 分で作業を終えたとして、
 $6 \times 35 + 5x = 300$
 $5x = 90$
 $x = 18$ **18分後**

- 2 ある中学校で生徒30人のハンドボール投げの記録を調べた。図は調べた記録を小さいほうから順に並べて書いた用紙の一部であり、表は調べた30人の記録を度数分布表に整理したものである。

ハンドボール投げの記録				
8	11	13	14	14
15	15	16	17	18
18	19	19	20	21

表		
距離 (m)	人数 (人)	
以上 未満		
5 ~ 10	1	
10 ~ 15	ア	
15 ~ 20	イ	
20 ~ 25	9	
25 ~ 30	6	
30 ~ 35	2	
合計	30	

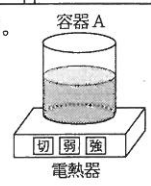
- 次の(1)~(3)の問いに答えなさい。
- (1) 表中のア、イにあてはまる数を書き込みなさい。(各2点×2=4点)
- ア: 4, イ: 8**

- (2) 表から、最頻値を求めなさい。(3点)
- 最も度数が大きい階級の階級値 $(20+25) \div 2 = 22.5 \text{ m}$**

- (3) 25m以上投げた生徒の相対度数を、四捨五入して小数第2位まで求めなさい。(4点)
- 25m以上投げた生徒は、 $6+2=8$ 人
 $8 \div 30 = 0.266\cdots$
0.27**

H28 (2016) 年度 岐阜公立 裏

- 3 右の図のように、水を入れた容器Aを電熱線で熱する。この電熱器は、熱する強さを弱と強に切りかえることができる。いま、Aを弱で10分間熱し、強に切りかえて、さらに5分間熱してスイッチを切った。Aを熱し始めてからの時間を x 分、そのときの水の温度を y °Cとして x と y との関係を表すグラフを、弱と強のいずれの強さの場合も y は x の1次式で表され、 x と y との関係は下の表のようになった。



x (分)	0	...	4	...	10	...	12	...	15
y (°C)	20	...	28	...	ア	...	イ	...	85

- 次の(1)~(4)の問いに答えなさい。
- (1) 表中のア、イにあてはまる数を書き込みなさい。(各2点×2=4点)

『弱』4分で8°C上昇→1分で2°C上昇→10分で20°C上昇
アは、 $20 + 20 = 40$ °C

『強』5分で45°C上昇→1分で9°C上昇→2分で18°C上昇
イは、 $40 + 18 = 58$ °C **ア40, イ58**

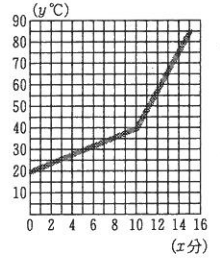
- (2) x の変域を次の①、②とするとき、 x と y の関係を式で表しなさい。

① $0 \leq x \leq 10$ のとき (3点)

$y = 2x + 20$

② $10 \leq x \leq 15$ のとき (3点)

$y = 9x + b$ に (10, 40) を代入
 $40 = 90 + b, b = -50$
 $y = 9x - 50$



- (3) x と y との関係を表すグラフをかきなさい。(0 ≤ x ≤ 15) (4点)
- (0, 20) → (10, 40) → (15, 85)**

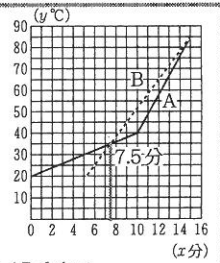
- (4) Aを熱し始めてからしばらくして、水を入れた容器Bを別の電熱器で熱し始めた。Bの水の温度は熱し始めてから一定割合で上昇し、AとBの水の温度が同時に85°Cになり、スイッチを切った。このとき、Aを熱し始めてからスイッチを切るまでの間で、Aの水の温度がBの水の温度より高い時間とBの水の温度がAの水の温度より高い時間が等しくなった。Bを熱し始めたのは、Aを熱し始めてから何分何秒後であったかを求めなさい。ただし、Bの水の温度は熱し始めるまで20°Cで一定であったものとする。(5点)

(Bの式を求めて $y=20$ を代入する)
AとBのグラフは右のようになる。
下線部から、Bは $15 \text{ 分} \div 2 = 7.5 \text{ 分間}$
Aを上回ったことになる。

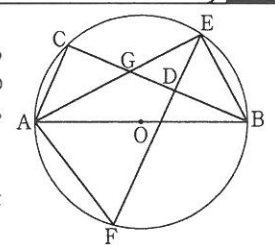
つまりBがAを上回ったのは7.5分から15分まで
 $y = 2x + 20$ に $x = 7.5$ を代入 $y = 15 + 20 = 35$ °C, よって、
 $7.5 \text{ 分で } 85 - 35 = 50$ °C上昇 → $1 \text{ 分で } \frac{50}{7.5} = \frac{100}{15} = \frac{20}{3}$ °C上昇
 $y = \frac{20}{3}x + b$ に (15, 85) を代入
 $85 = 100 + b, b = -15$
電熱器Bの式は $y = \frac{20}{3}x - 15$

ここに、 $y = 20$ を代入
 $20 = \frac{20}{3}x - 15, 60 = 20x - 45, 20x = 105, x = \frac{105}{20} = \frac{21}{4}$
 $\frac{21}{4} \text{ 分} = 5 \frac{1}{4} \text{ 分} = 5 \text{ 分} + \frac{1}{4} \times 60 \text{ 秒} = 5 \text{ 分 } 15 \text{ 秒}$

5分15秒後



- 4 右の図で、点CはABを直径とする円Oの周上の点であり、点Dは線分BC上の点で、AC=BDである。また、点E、FはDを通りBCに垂直な直線と円Oとの交点であり、点GはAEとBCとの交点である。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。



(1) $\triangle ACG \equiv \triangle BDE$ であることを証明しなさい。(10点)

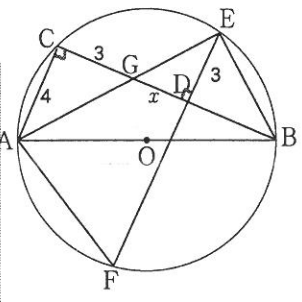
$\triangle ACG$ と $\triangle BDE$ で
仮定から、 $AC = BD$... ①
弧CEに対する円周角なので、 $\angle CAG = \angle DBE$... ②
直径に対する円周角なので、 $\angle ACG = 90^\circ$... ③
仮定より、 $\angle BDE = 90^\circ$... ④
③、④より、 $\angle ACG = \angle BDE$... ⑤
①、②、⑤から、
1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので
 $\triangle ACG \equiv \triangle BDE$

- (2) $AC = 4 \text{ cm}, CG = 3 \text{ cm}$ のとき
(ア) DG の長さを求めなさい。(4点)

$\triangle ACG$ と $\triangle EDG$ で
対頂角なので、 $\angle CGA = \angle DGE$... ①
直径に対する円周角なので、 $\angle ACG = 90^\circ$... ②
仮定より、 $\angle EDG = 90^\circ$... ③
②、③より、 $\angle ACG = \angle EDG$... ④
①、④から、
2組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ACG \sim \triangle EDG$

(1) より $CG = DE = 3 \text{ cm}$
 $\triangle ACG \sim \triangle EDG$ で $AC : ED = CG : DG$
 $4 : 3 = 3 : x, 4x = 9, x = \frac{9}{4}$

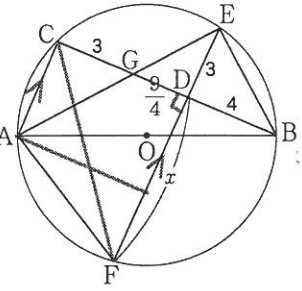
$\frac{9}{4} \text{ cm}$



- (イ) $\triangle AEF$ の面積を求めなさい。(5点)

CFを結び、
 $\triangle CDF \sim \triangle EDB$ で
 $CD : ED = DF : DB$
 $(3 + \frac{9}{4}) : 3 = x : 4$
 $3x = 21$
 $x = 7$

$EF = 3 + 7 = 10 \text{ cm}$ 。また、 $AC \parallel EF$ なので、
 $\triangle AEF$ で底辺EFに対する高さは $CD = 3 + \frac{9}{4} = \frac{21}{4} \text{ cm}$ 。
よって、 $\triangle AEF = 10 \times \frac{21}{4} \times \frac{1}{2} = \frac{105}{4} \text{ cm}^2$



H28 (2016) 年度 岐阜公立 裏

- 5 a, bは自然数とする。2次方程式 $x^2 + ax - b = 0$ について、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

(1) $a=3, b=1$ のとき、2次方程式を解きなさい。(3点)

$x^2 + 3x - 1 = 0, x = \frac{-3 \pm \sqrt{9+4}}{2}, x = \frac{-3 \pm \sqrt{13}}{2}$

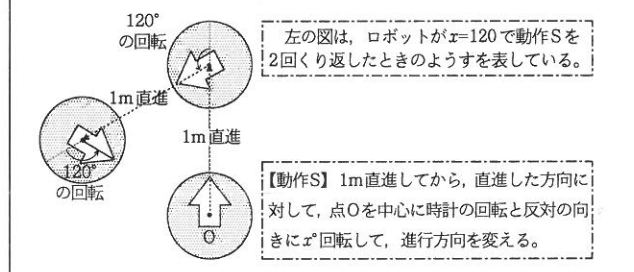
(2) $x=-6, x=3$ がともに2次方程式の解であるとき、 a, b の値の組 (a, b) を求めなさい。(4点)

$x=-6, 3 \rightarrow (x+6)(x-3)=0 \rightarrow x^2+3x-18=0, \text{係数比較 } (a, b) = (3, 18)$

(3) $x=-3$ が2次方程式の1つの解であるとき、 a, b の値の組は2つある。2つの a, b の値の組 (a, b) を求めなさい。(各2点×2=4点)

$(-3)^2 + a(-3) - b = 0, 9 - 3a - b = 0, b = 9 - 3a$
 $a=1$ の時 $b=6, a=2$ の時 $b=3, a=3$ の時 $b=0$ はダメ。
 $(a, b) = (1, 6), (2, 3)$

- 6 太郎さんは、円盤型のロボットを製作し、広く平らな床に置いた。ロボットは真上から見ると円形であり、円の中心を点Oとする。ロボットは、スイッチを入れた後、下に示す動作Sを、床の上で何回かくり返し、スタートした地点に戻ると、その次の動作Sは行わず、停止する。



- 太郎さんは、 x の値を5から5ずつ増やしながら180まで変え、それぞれの値ごとにロボットのスイッチを入れ、点Oが動いた跡を調べた。次の(1)~(4)の問いに答えなさい。(各4点×4=16点)
- (1) $x=90$ のとき、動作Sを何回くり返したかを求めなさい。

外角の和は 360°
 $360 \div 90 = 4$ **4回**

(2) 点Oの動いた跡が正六角形になったとき、 x の値を求めなさい。

外角の和は 360°
 $360 \div 6 = 60$ **60**

(3) 点Oの動いた跡が正 n 角形になったとき、この正 n 角形のうち内角の和が最大となる自然数 n の値を求めなさい。

n が大きいほど内角の和も大きくなるので n の最大値を求める。
 $n = 360 \div x$ で、 x の最小値が5なので、
 $n = 360 \div 5 = 72$ **72**

(4) $30 \leq x \leq 60$ で、点Oの動いた跡が正 n 角形になったとき、自然数 n の値をすべて求めなさい。

$n = 360 \div x$ なので、 x は360の約数。 $30 \leq x \leq 60$ で、
 $x=30$ のとき、 $n=12$ $x=35$ のとき、 n は分数
 $x=40$ のとき、 $n=9$ $x=45$ のとき、 $n=8$
 $x=50$ のとき、 n は分数 $x=55$ のとき、 n は分数
 $x=60$ のとき、 $n=6$ **$n=6, 8, 9, 12$**